# 平成26年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名(英) | 卒業研究(Graduation Thesis) | | | 授業コード | C109913 |
| 担当教員名 | 菅　雅幸 | | | 科目ナンバリングコード | L41206 |
| 配当学年 | 4 | 開講期 | 前期 | | |
| 必修・選択区分 | 全コース 必修 | 単位数 | 6 | | |
| 履修上の注意または履修条件 | 履修上の注意または履修条件 指導教員の指示にしたがってください。 | | | | |
| 受講心得 | 受講心得 大学での学習の集大成です。人生の節目となる有意義な作品や研究を期待しています。 | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 参考文献及び指定図書 指導教員の指示にしたがってください。 | | | | |
| 関連科目 | 関連科目 それぞれの専門分野に関連する全科目 | | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | 目的または到達目標 卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。<br>これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。<br>指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けます。 |
| 授業の概要 | 指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けま |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 : | |
| 第 2 週 : | |
| 第 3 週 : | |
| 第 4 週 : | |
| 第 5 週 : | |
| 第 6 週 : | |
| 第 7 週 : | |
| 第 8 週 : | |

| | |
|---|---|
| | |
| 第 9 週 : | |
| 第10週 : | |
| 第11週 : | |
| 第12週 : | |
| 第13週 : | |
| 第14週 : | |
| 第15週 : | |
| 第16週 : 期末試験 | |

| | | |
|---|---|---|
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| 〇単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
|---|---|
| 【関心・意欲・態度】 | |
| 【知識・理解】 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | |
| 【思考・判断・創造】 | |

| ○成績評価基準（合計100点） | | | 合計欄 | 100点 |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等（テスト） | レポート・作品等（提出物） | 発表・その他（無形成果） | |
| 【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 20点 | | |
| 【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | | 20点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 20点 | 20点 | |
| 【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。 | | 20点 | | |

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|---|---|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等（提出物） | |
| 発表・その他（無形成果） | |